

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

5-Ⅱ-9

5-Ⅱ-9

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	世界遺産グッズの開発支援
節	Ⅱ.伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	9 佐渡金銀山関連グッズの開発支援	事業主体	佐渡市地域振興課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、県中小企業団体中央会、佐渡観光交流機構、(株)ゴールデン佐渡、佐渡汽船(株)
事業概要	【事業目的】	○ 新たな商品・サービスの開発により、島内経済の活性化と全県への波及を図る。	
	【事業内容】	○ 佐渡金銀山グッズ等、新たな商品・サービスの開発に向けて、大手メーカーとの協力や商品開発、マーケティングに係る有識者によるアドバイス等の支援を行う。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内での異業種交流を図り新たな企業間連携を促すため、セミナーやワークショップ等を開催し、新たな商品・サービスの開発に取り組む。 ● 過去の開発商品のブラッシュアップと販路拡大を推進する体制の構築に取り組む。 	
	【R2年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症の影響によりセミナー等の開催は実施できなかったが、市内事業者が連携した佐渡産品セットボックスの制作など、次年度以降の商品開発に向けた異業種連携の礎が図られた。 	
課題・今後の取組	【課題】	■ 開発した商品の量産化に向けた体制の構築が必要である。	
	【今後の取組】	■ 相川地区の歴史・文化に関する新商品の開発を地元商工業者と連携して実施し、佐渡金銀山の魅力を広く発信する。	
事業評価	【事業の達成度】	◇ 次年度以降の商品開発に向けた取り組みを行うことができた。概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られていることからB評価とした。	
	【事業実施の効果】		
	【総合評価】		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。